

肉用鶏農家へ生酒粕の飼料活用について講演

6月27日に、京都府ブロイラー協議会と京都府家畜畜産物衛生指導協会の共催で「鶏の飼養衛生管理に係る技術検討会」が開催され、肉用鶏農家、飼料会社、関係団体、府関係者30名あまりが出席しました。

講演では、当センターの研究員が講師となり、「鶏の安価なタンパク質飼料原料としての生酒粕の可能性」について報告しました。出席者から「生酒粕を飼料化することで飼料コストが削減されることがよく分かった」「他の未利用資源の活用についても検証してほしい」等の活発な意見交換が行われました。今後も、試験研究成果を積極的に発信し、生産現場での普及につなげていきます。



成果を発表する研究員